

令和 6 年 2 月 1 5 日
福祉総務課福祉総務担当作成

平塚市福祉総務課所管施設の災害発生時閉鎖基準

指定管理者は「ほっとメールひらつか」(メール配信サービス)を登録し、自主的な災害情報の収集に努めること。また、受信した避難情報をもとに適時適切に閉鎖措置等の対応すること。

なお、この基準のほかに閉鎖措置をする場合は、市から別途、緊急連絡を行う。

ほっとメールひらつか(メール配信サービス)

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/keikaku/page-c_00949.html

【用語の意味】

○**閉鎖措置**...施設を閉鎖し、来館者がいる場合は、帰宅又は最寄りの避難所へ避難を指示すること。ただし、安全に避難できる状態でない場合、必要に応じて一時的に待機させること。

【地震災害(震度 5 強以上) 大津波・津波警報、南海トラフ地震臨時情報発令時】

- 市域で震度 5 強以上の地震の発生、相模湾・三浦半島で大津波・津波警報の発令又は南海トラフ臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、原則として、施設の閉鎖措置をとること。
- 施設の再開については、災害の程度や施設の被災状況などを総合的に判断したうえ、市が最終的に決定する。判断する過程において、各施設管理者に対して、施設の安全点検・状況報告を求めた際には、協力すること。

【風水害】

- 高齢者等避難**(警戒レベル 3)が発令された場合、各福祉会館等においても高齢者等には、来館者の帰宅を促すこと。(閉鎖はしない。)
- 避難指示**(警戒レベル 4)が発令された場合、主要幹線道路の冠水や通行止めが想定されるため、警戒レベル 3 に下がるまで施設の閉鎖措置をとること。

【用語の意味】

- 避難指示**(警戒レベル 4)...災害のおそれが高い状況。危険な場所から全員避難しましょう。
- 高齢者等避難**(警戒レベル 3)...災害のおそれあり。避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は危険な場所から避難しましょう。

【暴風・大雪・暴風雪】

- 市域に注意報発表時には、来館者の帰宅を促すこと。（閉鎖はしない。）
- 警報発表時には、注意報に下がるまでの間は、施設の閉鎖措置をとること。

【共通基準】

- 施設を閉鎖する場合は、各施設のホームページに掲載し、施設入口に貼紙を掲示して利用者へ周知を行うこと。
- 施設を閉鎖する場合でも、災害の状況によっては、利用者を帰宅させることがかえって危険になることもあるので、施設内に一時的に待機させるなど、臨機応変な対応を心掛けること。
- 施設を再開する際には、施設の安全点検を行うこと。

【その他】

- 災害による施設の損傷及び利用者の負傷が発生した場合は速やかに市へ報告すること。
- 大規模災害時で避難所の開設が3日以上予想される場合には、平塚市災害対策本部の指示により、各福祉会館等は「福祉避難所」に指定される場合がある。（福祉会館本館は除く。）その場合、指定管理者は、「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所開設・運営基本マニュアル」に基づき、福祉避難所の開設に協力すること。

以 上